

# 「信州やまなみ国スポ・全障スポ実行委員会」 第1回常任委員会の開催結果について

## 1 日時

令和8年2月10日（火）13:30～14:40

## 2 場所

オンライン会議（主会場：長野市「ホテル国際21 2階 芙蓉の間」）

## 3 出欠状況

総数57名

出席者（本人及び代理出席）：36名、欠席による委任状提出者：21名 計57名

## 4 報告事項

- (1) 報告事項1 各専門委員会における審議結果について
- (2) 報告事項2 信州やまなみ全障スポ 大会会期について
- (3) 報告事項3 信州やまなみ国スポ 競技会会期について
- (4) 報告事項4 信州やまなみ国スポライフル射撃（50m、10m、BR・BP）競技会実施方針について

事務局から一括して報告 → 質疑なし

## 5 審議事項

- (1) 第1号議案 信州やまなみ国スポ冬季大会 各競技会開始式・表彰式会場選定（案）について

事務局から説明 → 質疑なし

- (2) 第2号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ 情報通信基本計画（案）について

事務局から説明 → 質疑なし

- (3) 第3号議案 信州やまなみ国スポ デモンストレーションスポーツ第5次選定（案）について

質疑1件あり

（委員）現時点で実施される競技数が24競技であるが、先催県と比較した際の実施予定競技数の多寡、特徴のある競技や今後実施予定の競技等があれば、教えていただきたい。

（事務局）実施競技数は先催県では概ね30競技～40程度。今後実施競技数が増加すれば、先催県と同程度になると思われる。

次に、特徴のある競技としては、本県は、冬季国スポも併せて開催することから、カーリングやバイアスロン、木ヅリといった冬季に開催する競技が実施されるのが、特徴である。

最後に、今後実施予定の競技については、現在複数の競技団体や市町村から新たなデモンストレーションスポーツの実施について調整を行っており、具

体的には、ダーツ等の競技について協議が進んでおり、今後正式な実施申請がなされる見込み。

- (4) 第4号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ 式典基本計画（案）について  
事務局から説明 → 質疑なし
- (5) 第5号議案 信州やまなみ国スポ冬季大会 式典基本計画（案）について  
事務局から説明 → 質疑なし
- (6) 第6号議案 信州やまなみ国スポ・全障スポ 開・閉会式会場等準備基本計画（案）について  
事務局から説明 → 質疑なし
- (7) 第7号議案 信州やまなみ全障スポ オープン競技実施競技及び会場地市町村第2次選定（案）について  
質疑1件あり。  
(委員) 全国障害者スポーツ大会の出場選手は、デフリンピック（4年に1度開催される耳の聞こえないアスリートを対象とした国際スポーツ大会）のように、出場選手の障がいの種別は限定されているのか。  
(事務局) 全国障害者スポーツ大会は、様々な障害のある方が選手として参加している。

(1)～(7)について、いずれも原案のとおり可決

## 5 その他

「長野県競技力向上基本計画」の概要

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 視察結果

信州やまなみ国スポ・全障スポ2028広報の取組

事務局から一括して説明 → 質疑3件あり

(委員) 資料 28 ページ記載の「長野県競技力向上基本計画」のなかでは、令和8年度は、天皇杯・皇后杯ともに8位以内が目標となっている。現状から、順調に推移しているといえる状況なのか懸念している。

これまで様々な課題について強化策を行っているかと思われるが、事務局としてここまでの手応え等についてご教示いただきたい。

(事務局) 他県も含め自県開催の3大会前、もしくは4大会前には成績が振るわなくなる時期がある。これは選手の世代交代等上位をキープできる選手が恒久的に出場できる訳ではないためである。そのため、代替わりをいかにスムーズにやっていくかが課題でもあり、重要なポイントだと考えている。

各競技団体の強化担当者と我々対策本部職員との間で、常に情報共有を図りながら、2028年に向けて最強の布陣を構築すべく体制を整備していくことで一致し

ている。現状、目標に達していないとのご指摘については真摯に受け止め、それらを踏まえた対策を講じるとともに、歩みを止めることなく着実に取り組んでいく。

(委員) 選手や指導者、団体競技等は各々の目標に向かって活動していると思っている。次回以降でいいので、目標とする水準に対する現在の達成度や進捗状況について、事務局の現在の認識を整理した上でご説明いただきたい。次に、先ほどの広報の取組のなかで紹介された YouTube で公開されている「競技紹介動画」についてはどのような目的で作成されたのか。

(事務局) 1つ目の御質問につきましては、専門的な検討を行う「競技力向上対策本部会議」を3月に開催予定である。当該会議において詳細を整理し、改めてお答えできるよう、準備を行いたい。

(委員) 承知。目標に対して現在どのような状況にあるのか、また、目標達成に向け今後どのような施策を付加すべきかを明確にされたい。その上で、着実な進捗管理を行うべく、PDCA サイクルを適切に機能させるようにしていただきたい。

(事務局) 2点目の御質問である「競技紹介動画」について回答させていただく。国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会には様々な競技が実施をされ、ご承知の通り国スポの正式競技が40、全障スポについては正式競技が14実施される。様々な競技があるため競技の紹介と競技に関する県関係の選手の方を御紹介するために動画を作成した。動画の活用方法については、今後も工夫をしていきたい。

(委員) 動画作成の主たる目的は、県民に対する県選手の周知ということによろしいか。

(事務局) お見込みのとおり。

(委員) 作成物等は目的を明確に作っていただければと思う。

(委員) 長野オリンピックの際に一校一国運動という応援活動があったと思われるが、今回の大会についても、多くの市町村が競技会場になっていることから、一校一県運動のような形で、市町村レベルからのおもてなしの運動をしていただきたい。

(事務局) 先催県の活動としては、一例としてのぼり旗に各県を応援する内容物を書く等の取組をしていることは承知している。今後の取組については、各市町村とも相談をしながら進めてまいりたい。